

(社) 日本鑄造工学 生型の高精度化研究部会

第02回部会 議事録

日時 : 2006年7月27日(木) 13:00~16:30

場所 : 名古屋市中小企業振興センター 会議室

出席者: 米北(部会長) 阪口(前部会長) 太田(元部会長) 池永(大阪府立大) 前田(海上保安大) 高森(物質材料研究機構) 居田(コマツ) 佐藤(自動車鑄物) 藤堂(旭テック) 宮崎(コヤマ) 寺島・五十嵐(豊洋) 片岡(ボルクレイ) 橋本(幹事) 以上14名(順不同, 敬称略)

【部会議事】

1. 前回議事録の確認・事務報告

1) 前回議事録: 異議無く承認された。

2. 生型鑄造工場の事例 (A-02-03) 太洋マシナリー 米北部会長

小型抜き杵造型機・大型杵付造型機を有する鑄造工場において、生砂再生装置(再生砂は中子砂として使用予定)を導入された事例において、レイアウト・砂処理フローおよびその収支・生砂再生導入によるコストメリット想定についての報告がなされた。

3. AZ91合金と片状黒鉛鑄鉄の鑄肌および組織に及ぼす塗型の影響 (A-02-04)

物質・材料研究機構 高森委員

鑄型は単に形状を付与するという機能だけではなく、積極的に鑄造組織を改善するという機能を持ちえるという観点から、鑄型あるいは塗型材質が鑄物表面性状および組織にどのような影響を及ぼすかというテーマで基礎研究を開始した。AZ91+7号珪砂乾燥型(ベントナイト粘結)+黒鉛塗型、鑄鉄+7号珪砂生型+ボロンナイトライド塗型の2種類の組み合わせで実施された板状試験片への鑄込み結果概要(外観および鑄肌状態)について報告があった。

4. その他

出席各委員の自己紹介および抱負についての議論が行なわれた。

以上